



c / i c k !

情報処理センター通信

CONTENTS

- ◆情報処理センターレポート
- WebClass講習会(eポートフォリオ機能活用編)の開催報告・・・1
- 情報処理センター協議会への参加報告・・・3
- ここをチェック! PCサポート担当のワンポイント・・・3
- 情報処理センター教職員紹介・・・4
- ◆編集後記・・・4



◆情報処理センターレポート

● WebClass講習会(eポートフォリオ機能活用編)の開催報告

情報処理センターでは、平成25年9月25日と26日に昨年度に続き WebClass の講習会を開催しました。

昨年度は、初めてWebClassを利用する教員を対象にした「簡単!できる! WebClass入門講習会」でした。今年度は、WebClassを授業に効果的に活用するための講習会とし、追加した新機能(click!前号で紹介)「WebClass講習会(eポートフォリオ機能活用編)～レポート作成を通してより深く学ばせるために～」を主に行いました。

既にWebClassを授業に活用している先生方、WebClassは使ったことがないがこれからeポートフォリオを授業に取り入れたいと希望する先生方、計10名の参加がありました。

講習内容は、eポートフォリオ機能の基本操作の習得を中心に、「出っぱなしのレポート課題」を改善すべく、学生自身がレポートの修正を加えながらレポートを作成するプロセス自体が学習活動そのものとなるような授業を想定して、まず学生の立場を経験した後、教員の操作や設定法について学んでいただきました。

ピアアセスメントは
お互いを高めあう効果がある
と言えます。



以下の手順で進めました。

- ・「eポートフォリオとは、なぜ今 eポートフォリオが求められるか」についての説明
- ・WebClassのeポートフォリオ機能の概要説明
- ・学生の立場での操作体験
- ・教員の立場での操作体験
- ・授業への適用方法および質疑応答

参加者の反応はとてもポジティブで、実際に自分の授業に使ってみたいという意見を多くいただきました。eポートフォリオは、知識だけではなく実践的なスキルや能力を獲得する授業／プログラムでの活用が有効である学習ツールであり、学習方法でもあります。本学においても、教職実践演習や教育実習などの学生の主体的なパフォーマンスを評価する場面や継続的かつ横断的な学生の成長を記録し質保証をおこなう手段として活用されることを期待しています。

情報処理センターは、今後も日々の教員・学生の円滑なICT活用の環境整備および技術的サポートにもあたっていきたいと思えます。



講習会参加者の声

学校心理学分野 関口貴裕先生よりお寄せ頂きました

9月26日に開催された「eポートフォリオ」の講習会に参加しました。

正直言って、私は「学生には授業内容を一方的に教え込めばよい」という古い授業観から抜け出せていない(というか信奉している)ので、eポートフォリオが想定する学生どうしの学びあいやらプロセス重視の学習のようなものは、いささか胡散臭く感じていました。しかしながら、講習会では講師の森本先生が、学生自身が作り上げる学びの重要性を背景理論をふまえ丁寧に説明して下さい、何より学生の立場にたつてeポートフォリオを使うことで、他の学生(講習会では他の教員)による評価・コメントから多くの発見が得られることを体験させていただいたため、学びあいによる学習が「それはそれで」とも効果的であることを強く実感することができました。

このシステムは、業者の視点で開発されたものではなく、教育者自身が実際の授業を想定して開発したものであるため、背景にある思想が明確であり、活用方法を様々に考えることができます。私は早速、秋学期から「教職実践演習」の中で使い始めました。今回の講習を受講された方が10名しかいなかったということで、とても残念に思います。WebClass自体がそうですが、eポートフォリオは学生の授業外学習を促進し、90分の授業だけではできない教育を可能とする非常に優れた学習ツールです。ぜひ多くの先生方にこのツールを利用していただき、活用法に関する情報交換をしたいなと思えます。

eポートフォリオ機能の画面例

【コンテナのトップ画面】

【相互評価の画面】

【評価分析の画面】

◆情報処理センターレポート

● 情報処理センター協議会への参加報告



国立大学法人情報系センター協議会参加報告

第10回総会／第8回研究集会／第17回学術情報処理研究集会

2013年9月9日から二日間、千葉大学において国立大学法人情報系センター協議会第10回総会、第8回研究集会、第17回学術情報処理研究集会が開催され、本学より宮寺センター長、センター専任所員の森本准教授、情報基盤課職員が参加しました。

初日に開催された第17回学術情報処理研究集会では、各大学におけるICT活用の研究・試行について発表があり、活発な質疑応答が交わされました。発表の多くにクラウドや仮想化が用いられ、情報の教育・研究・広報活用も徐々に形態が変わりつつあると感じました。

二日目には研究集会と総会が開催されました。研究集会では、統一テーマを「情報セキュリティにかかる諸問題及びその技術的な対応」として二部構成で行われ、1部は「情報セキュリティ教育について」「ソフトウェアの全学導入について」、2部は「クラウドセキュリティについて」「BYODについて」をテーマに、代表大学の問題提起や事例紹介、その後質疑応答や意見交換が行われました。総会では、開催校の千葉大学の挨拶の後、文部科学省研究振興局参事官(情報担当)付学術基盤整備室長(長澤公洋氏)および国立情報学研究所長(喜連川優氏)と同学術ネットワーク研究開発センター長(漆谷重雄氏)の講演、議事、幹事会報告、センター長懇談会報告、地区報告、研究集会報告があり、意見交換や情報交換が行われました。

【参考】国立大学法人情報系センター協議会(千葉大学)

<http://www.imit.chiba-u.jp/nipc2013/>



ここをチェック!

PCサポート担当のワンポイント

無線LAN接続の注意点

最近、研究室などでパソコンを無線LAN接続で使用するためにアクセスポイントを設置されるところが増えていきます。

しかしながら、購入時の状態のまま使用されている状況が見られます。このような状態で使用しますと、接続パソコンにはローカルIPアドレス(192.168.*)が付与されて学内認証はルーターが代行しますので、個々のパソコンでの認証がなされなくなります。このことは「情報セキュリティガイドライン」の3.1の1)クライアント機器の使用(…ネットワークへ接続する場合は、認証を経ることとする。)に抵触します。

(※情報セキュリティガイドライン <http://local.u-gakugei.ac.jp/~ipcenter/policy/guide.pdf>)

また、ネットワーク接続プリンタを使用していた場合に印刷できなくなることもあります。

☑ 無線対応ルーターを購入し使用される場合には、必ずルーター機能Off(ブリッジモード)にしてください。(一般的なルーターにはOn、Off、Autoの選択用スイッチがついています。)

◆情報処理センターレポート

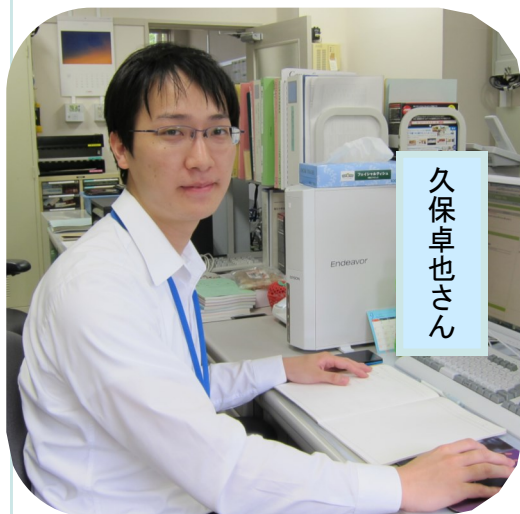
情報処理センター教職員紹介



くぼたくや

今回は、情報処理センター事務室に技術職員として新たに配属された久保卓也さんを紹介します。

8月より情報基盤課情報基盤係・情報処理センターの技術職員として勤務しております新人職員の久保卓也と申します。これを書いているときはちょうど2ヶ月ほど経ちましたところで、センターの業務に少しずつですが慣れつつあるところです。



久保卓也さん

大学時代は情報系の学科に在籍しておりまして、画像処理の高速化の研究をしておりまして。また、アルバイトとしてWebプログラミングなどの経験をしてきましたが、ネットワーク等の知識のレベルとしては基礎的なものしかなかったので、大学内ネットワークシステムの保守・メンテナンスといった実務的な業務を一から学ぶことに奮闘中です。

趣味としましては、基本インドア派で週末は家にいることがほとんどなのですが、長期休暇の際は旅行に行くことが多いです。特に鉄道旅行が好きで、大学時代の友達に誘われたことがきっかけで良く行くようになりました。他にはゴルフ・カラオケなどが好きです。

まだまだ至らない点も数多くあると思いますが、皆様のお役に立てるよう精一杯頑張っていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。



編集後記

今年の夏は大変暑い日が多かったですね。さすがに少々夏バテの状態が続きました。熱に弱いのは機械も同じで、通信機器の故障も夏に集中する傾向にあります。例年、暑い日が続いたり停電が発生した後にネットワークに繋がらなくなったという問い合わせを受けますが、原因の一つにネットワークHUBの故障や動作不良があります。同じ部屋内のパソコンが一斉に繋がらなくなった時はHUBの点検を試してみてください。また、暑いと言えば「炎上」という言葉をご存知でしょうか。ネット用語ではネット上の書き込みに対して非難や誹謗中傷が殺到する様子を指すそうです。今年は店舗の冷蔵庫に入ったり不適切な食物の扱いを安易にTwitterなどのSNSへ投稿し炎上した事例が多発していたことをご存知の方も多いと思います。素行はともかくネットリテラシーについても考えさせられる夏でしたね。(竹)

国立大学法人 東京学芸大学

情報処理センター

□TEL 042-329-7710 □FAX 042-329-7711

□URL <http://www.u-gakugei.ac.jp/~ipcenter/>□E-mail ipcenter@u-gakugei.ac.jp